

## 2024年12月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年5月10日

上場会社名 株式会社アシックス 上場取引所 東  
 コード番号 7936 URL <https://corp.asics.com/jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 C O O (氏名) 富永 満之  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 C F O (氏名) 林 晃司 (TEL) 050-1744-3104  
 四半期報告書提出予定日 2024年5月10日 配当支払開始予定日 ー  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有  
 四半期決算説明会開催の有無：有（機関投資家、証券アナリスト、報道機関向け）

(百万円未満切捨て)

### 1. 2024年12月期第1四半期の連結業績（2024年1月1日～2024年3月31日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期第1四半期	174,102	14.3	33,812	52.9	33,076	50.9	26,737	63.9
2023年12月期第1四半期	152,297	44.6	22,120	119.9	21,921	99.3	16,310	86.9

(注) 包括利益 2024年12月期第1四半期 40,338百万円 (136.6%) 2023年12月期第1四半期 17,048百万円 (△8.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期第1四半期	146.60	146.48
2023年12月期第1四半期	89.05	88.97

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期第1四半期	486,453	224,595	45.8
2023年12月期	464,116	206,801	44.1

(参考) 自己資本 2024年12月期第1四半期 222,728百万円 2023年12月期 204,808百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	ー	25.00	ー	40.00	65.00
2024年12月期	ー	ー	ー	ー	ー
2024年12月期（予想）	ー	40.00	ー	10.00	ー

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

当社は、本日開催の取締役会において、2024年7月1日を効力発生日として普通株式1株につき4株の割合で株式分割を実施することを決議しました。そのため、2024年12月期（予想）の1株当たり期末配当金については、当該株式分割の影響を考慮した金額を記載しています。株式分割を考慮しない場合の2024年12月期（予想）の1株当たり期末配当金は40円00銭となります。詳細は、本日公表の「株式分割、定款の一部変更、配当予想の修正等に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	590,000	3.4	58,000	7.0	53,000	4.6	36,000	2.1	49.35

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2024年12月期の業績予想（通期）における1株当たり当期純利益については、株式分割の影響（1株につき4株の割合）を考慮しています。株式分割の影響を考慮しない場合の2024年12月期の業績予想（通期）における1株当たり当期純利益は197円39銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

（注）詳細は、添付資料10ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記（3）四半期連結財務諸表に関する注記事項（四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用）」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- |                      |     |
|----------------------|-----|
| ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| ② ①以外の会計方針の変更        | : 無 |
| ③ 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| ④ 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年12月期 1 Q	189,870,559株	2023年12月期	189,870,559株
② 期末自己株式数	2024年12月期 1 Q	9,043,853株	2023年12月期	6,634,589株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年12月期 1 Q	182,378,585株	2023年12月期 1 Q	183,169,728株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述などについてのご注意）

本資料に記載されている業績見通しなどの将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績などは様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料5ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（四半期決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2024年5月10日（金）に機関投資家、証券アナリスト、報道機関向け説明会を開催する予定です。この説明会で使用する四半期決算補足説明資料については、開催同日に当社ホームページ

([https://corp.asics.com/jp/investor\\_relations/library/financial\\_summary](https://corp.asics.com/jp/investor_relations/library/financial_summary)) に掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	5
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	10
(四半期連結貸借対照表関係)	10
(四半期連結損益計算書関係)	10
(セグメント情報)	11
(重要な後発事象)	12
3. 補足情報	14
(1) 地域別売上高	14
(2) 在外子会社為替換算レート	14
(3) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比及びセグメント利益率	14

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当第1四半期連結累計期間の主要な取組み

2024年は、世界的スポーツイベントが開催され、スポーツ市場が盛り上がりを見せる年となります。アシックスでは、本年が中期経営計画2026の初年度となり、第1四半期としては過去最高の営業利益と営業利益率を達成するなど幸先の良いスタートとなりました。3月に開催された東京マラソンではシェアを昨年からさらに上昇させ、39%となりました。アシックスの契約選手もMETASPEEDシリーズのシューズを着用して大活躍。多くの選手が上位にランクインしました。おめでとうございます！オリンピック/パラリンピックでのMETASPEEDシリーズの躍進にも、ぜひご期待ください。

中期経営計画2026の方針は「Global Integrated Enterprise (GIE) への変革」です。GIEとは、本社と地域事業会社との更なる連携強化による、これまで以上に有機的なカテゴリー経営体制のことを指します。グローバルで最適なオペレーションを推進・実行することにより、現在の主要地域だけでなく今後大きく成長が見込まれる東南・南アジア、南米などの成長著しい地域でもマーケットシェアを拡大します。

経営の意思決定にも地域事業会社からの情報、意見がより迅速かつダイレクトに反映されるよう、1月から海外在勤の執行役員も参加する形で、英語での経営会議を開始しております。この会議では全社戦略について議論を深めるほか、海外在勤の執行役員からの各地域でのベストプラクティスの共有などを行っております。また、年に2回、全ての地域事業会社のCEOが本社に集まる機会を設定し、サプライチェーン、デジタル、サステナビリティ、人財などについて対面で議論をします。ここでも各地域での取組みを横展開し、グローバルで最適な戦略を各地域で実行に移します。

人財・組織についても本社のある日本からグローバルを統括するスタイルに固執するのではなく、グローバル全体で見てそれぞれ最適な地域から全社をリードしていくことが重要だと考えています。イノベーションの観点では、4月に、米国・ボストンにASICS Creation Center LLC (ACC) を設立しました。競争が激化するスポーツ市場で今後も成長し続けるため、世界のスポーツトレンドの中心地の1つであり、市場規模やダイバーシティの観点でも先進的な米国が立地として最適と判断しました。ACCはグローバル商品の企画、デザイン、開発、及びイノベーション機能を担います。より長期視点かつ顧客志向の考え方でイノベーションの創出を目指しながら、商品企画段階でのカテゴリー一問の連携をこれまで以上に強化していきます。

GIEへの変革に向けて更なる「グローバル×デジタル」の推進が必要と考えています。今後の成長に期待を寄せているインドにおいて、3月にアシックスとの協業アイデアを募集するピッチイベントを、スタートアップ企業への出資を行うグループ会社であるアシックス・ベンチャーズ株式会社とともに開催いたしました。現地のスタートアップ企業を対象に、同国におけるアシックスのランニング事業の拡大と未来の事業創造を後押しする協業パートナーを選定すべく、昨年10月から選考を進めてまいりました。50社を超える企業から応募をいただき、厳正なる審査を経て、ライブビデオコマースやライブ足型測定技術を有する「SaleAssist Innov8 Pvt Ltd.」を最優秀企業として選定しました。ASICS India Pvt. Ltd. との事業連携を開始し、インドのECサイト上での早期の実装を目指してまいります。

アシックスの会員プログラム「OneASICS」を軸に、お客様との直接的なタッチポイントが増加しております。1,000万人以上の、これまで蓄積された購買履歴やトレーニング実績、レース参加履歴などのデータを活用することで、今後提供するサービスを更に改良・拡充していく予定です。「OneASICS」によって運動・スポーツをする全ての人をサポートすることが、アシックスの理念である「Sound Mind, Sound Body」の推進だと考えています。直営店やECサイトだけでなく、あらゆる場面においてお客様とのタッチポイントを築いていく「OneASICS経営」を推進します。全社一丸となってこれを推進すべく、本年より従来の日米欧豪を中心とするプログラムの会員数に加え、中国・インドなどで展開するローカルプログラムの会員数を合計し「OneASICS会員」と定義し公表することにいたしました。

また、これまでランナーの皆様に向けたサービスを中心に展開してきましたが、ランニングに次ぐスポーツとしてテニスに注力する「T-Project」を立ち上げました。契約テニスプレーヤーと共に主要地域でのマーケットシェアNo. 1と、アシックス全体のブランドイメージ向上を目指します。

第1四半期の業績については、全てのカテゴリー、地域、チャネルにおいて粗利益率が大きく伸長し、前年同期から+4.3pptの54.5%となりました。粗利益率はブランドの価値を表す指標と認識しており、大きな改善となったことは、中期経営計画2026における重点戦略である「ブランド体験価値向上」に向けて良い走り出しになったと捉えています。

今年度からサプライチェーントランスフォーメーション部を新設し、在庫最適化に向けた取組みを進めております。地域事業会社からの商品発注・販売計画を本社のカテゴリーを中心にレビューする会議を実施し、生産・販売計画・在庫の管理を強化するとともに、物流の効率化を目的としてパートナー企業との協業などにも取り組める分野だと考えております。また、7年をかけて導入したグローバル統一の基幹システムとデータをフル活用して、需要予測、生産計画、在庫管理の最適化、可視化などを進めております。これらの「オペレーショナルエクセレンス」により、今後更に粗利益率そして営業利益率の改善が見込めると考えております。具体的な取組みについては、皆様に今後ご報告するよういたします。

1月には、アナリストや金融機関の皆様に向けて東南・南アジア視察を行いました。アシックスのビジネスの現場を直接ご覧いただき、理解を深めていただくことを目的に、工場・サプライチェーン拠点やストア訪問を実施いたしました。参加者からは「アシックスのシェア拡大のポテンシャル、オニツカタイガーのブランド力など成長市場における大きな躍動感を体感できた」「ストアスタッフの方のお話を直接聞いて、ブランドへの誇りを感じた」などのコメントをいただきました。ムンバイマラソンも体感いただき、インド市場の盛り上がりを感じていただけたと考えております。引き続き、今年度も資本市場関係者とのコミュニケーションについて更に工夫をまいります。

2月9日に決定した総額150億円の自己株式取得枠設定について、3月22日に約150億円の自己株式取得を完了いたしました。これにより、中期経営計画2023の目標であった「2021年から2023年の期間を通じた総還元性向50%以上」を達成しました。

また、2024年6月30日を基準日とし、株式分割（普通株式1株につき4株）を実施することを決定しました。足許の株価上昇を背景に、本年3月の株主総会においても株主様から直接、株式分割に関するご意見をいただいております。新NISA制度の開始も念頭に、投資単位当たりの金額を引き下げることで今まで以上に個人投資家の皆様を選んでいただけるアシックスを目指します。合わせて、2024年の年間配当額を実質10円増配し、株主優待についても直営店とECサイトの割引率を揃えるなど、拡充を行ってまいります。

今後もステークホルダーの皆様のご期待に沿えるよう、「脚をとめるな。」を合言葉に、全社員一丸となって進んでまいります。アシックスの更なる成長にぜひご注目ください！

① 売上高

為替影響に加え、ほぼ全てのカテゴリーで好調に推移したこともあり、売上高は174,102百万円と前年同期比14.3%の増収となりました。

② 売上総利益

粗利益率の改善により、94,847百万円と前年同期比24.1%の増益となりました。

③ 営業利益

上記増収増益の影響により、33,812百万円と前年同期比52.9%の増益となりました。

④ 経常利益

上記増収増益の影響などにより、33,076百万円と前年同期比50.9%の増益となりました。

⑤ 親会社株主に帰属する四半期純利益

上記増収増益の影響などにより、26,737百万円と前年同期比63.9%の増益となりました。

カテゴリー別の経営成績は、次のとおりであります。

なお、当第1四半期連結累計期間よりカテゴリーの表示順を変更しております。

(単位：百万円)

(カテゴリー)	売上高			カテゴリー利益		
	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (△は減)	前第1四半期 連結累計期間	当第1四半期 連結累計期間	増減額 (△は減)
パフォーマンスランニング	77,913	87,894	9,981	16,913	22,961	6,047
コアパフォーマンススポーツ	22,741	24,884	2,143	5,779	6,402	623
アパレル・エクイップメント	9,605	9,325	△280	601	1,036	435
スポーツスタイル	15,487	23,493	8,006	3,760	7,082	3,321
オニツカタイガー	12,124	18,024	5,899	3,026	6,454	3,427

## ① パフォーマンスランニング

売上高は、ほぼ全ての地域で好調に推移し、87,894百万円と前年同期比12.8%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、上記増収や粗利益率の改善などにより、22,961百万円と前年同期比35.8%の増益となりました。

## ② コアパフォーマンススポーツ

売上高は、全ての地域で好調に推移し、24,884百万円と前年同期比9.4%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、上記増収や粗利益率の改善などにより、6,402百万円と前年同期比10.8%の増益となりました。

## ③ アパレル・エクイップメント

売上高は、中華圏地域では好調だったものの、日本地域の戦略的な事業縮小の影響により、9,325百万円と前年同期比2.9%の減収となりました。カテゴリ利益につきましては、粗利益率の改善などにより、1,036百万円と前年同期比72.4%の増益となりました。

## ④ スポーツスタイル

売上高は、全ての地域で好調に推移し、23,493百万円と前年同期比51.7%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、上記増収の影響などにより、7,082百万円と前年同期比88.3%の増益となりました。

## ⑤ オニツカタイガー

売上高は、全ての地域で好調に推移し、18,024百万円と前年同期比48.7%の増収となりました。カテゴリ利益につきましては、上記増収や粗利益率の改善などにより、6,454百万円と前年同期比113.3%の大幅増益となりました。

報告セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

## ① 日本地域

売上高は、パフォーマンスランニングやオニツカタイガーが好調だったことにより、40,079百万円と前年同期比10.2%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響や粗利益率の改善などにより、6,598百万円と前年同期比39.8%の増益となりました。

## ② 北米地域

売上高は、パフォーマンスランニングやスポーツスタイルが好調だったことにより、33,077百万円と前年同期比26.5%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響や粗利益率の改善などにより、3,475百万円と黒字転換いたしました。

## ③ 欧州地域

売上高は、全てのカテゴリが好調だったことにより、48,377百万円と前年同期比8.8%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響や粗利益率の改善などにより、9,684百万円と前年同期比47.8%の増益となりました。

## ④ 中華圏地域

売上高は、全てのカテゴリが好調だったことにより、23,870百万円と前年同期比24.5%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響などにより、5,784百万円と前年同期比28.3%の増益となりました。

## ⑤ オセアニア地域

売上高は、パフォーマンスランニング以外のカテゴリが堅調に推移したことにより、11,698百万円と前年同期比1.4%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、粗利益率の改善などにより、2,516百万円と前年同期比20.9%の増益となりました。

## ⑥ 東南・南アジア地域

売上高は、全てのカテゴリが好調だったことにより、9,171百万円と前年同期比31.8%の増収となりました。

セグメント利益につきましては、上記増収の影響などにより、2,237百万円と前年同期比28.7%の増益となりました。

⑦ その他地域

売上高は、スポーツスタイルやオニツカタイガーが好調だったものの、2023年12月にHaglöfs ABの株式譲渡を実施し、同社を連結範囲から除外したことにより、12,711百万円と前年同期比2.5%の減収となりました。

セグメント利益につきましては、粗利益率の改善などにより、2,518百万円と前年同期比35.3%の増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の財政状態といたしましては、総資産486,453百万円（前連結会計年度末比4.8%増）、負債の部合計261,858百万円（前連結会計年度末比1.8%増）、純資産の部合計224,595百万円（前連結会計年度末比8.6%増）でした。

① 流動資産

受取手形及び売掛金の増加などにより、338,897百万円（前連結会計年度末比4.8%増）となりました。

② 固定資産

投資有価証券の増加などにより、147,556百万円（前連結会計年度末比5.0%増）となりました。

③ 流動負債

短期借入金の増加などにより、150,868百万円（前連結会計年度末比5.0%増）となりました。

④ 固定負債

その他固定負債の減少などにより、110,989百万円（前連結会計年度末比2.4%減）となりました。

⑤ 純資産

自己株式の取得による減少があったものの、利益剰余金の増加などにより、224,595百万円（前連結会計年度末比8.6%増）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年12月期連結業績予想につきましては、2024年2月9日に公表しました連結業績予想から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	114,005	87,174
受取手形及び売掛金	65,593	104,014
商品及び製品	118,411	113,771
仕掛品	196	260
原材料及び貯蔵品	2,638	3,025
その他	26,369	34,770
貸倒引当金	△3,692	△4,119
流動資産合計	323,522	338,897
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	36,242	37,020
減価償却累計額	△23,996	△24,708
建物及び構築物(純額)	12,245	12,311
機械装置及び運搬具	6,096	6,277
減価償却累計額	△4,434	△4,638
機械装置及び運搬具(純額)	1,662	1,639
工具、器具及び備品	38,697	40,938
減価償却累計額	△32,451	△34,498
工具、器具及び備品(純額)	6,245	6,440
土地	5,893	5,903
リース資産	1,597	1,616
減価償却累計額	△1,073	△1,125
リース資産(純額)	523	491
建設仮勘定	2,055	3,702
有形固定資産合計	28,625	30,489
無形固定資産		
のれん	6,250	6,497
ソフトウェア	23,938	25,461
使用権資産	39,325	40,525
その他	8,826	9,511
無形固定資産合計	78,341	81,995
投資その他の資産		
投資有価証券	12,105	14,308
長期貸付金	24	23
繰延税金資産	12,319	9,652
その他	10,469	12,346
貸倒引当金	△1,291	△1,258
投資その他の資産合計	33,627	35,071
固定資産合計	140,593	147,556
資産合計	464,116	486,453



(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	43,921	44,426
短期借入金	7	23,085
1年内償還予定の社債	20,000	—
リース債務	11,747	12,045
未払費用	29,955	26,400
未払法人税等	5,093	7,493
未払消費税等	1,013	3,384
賞与引当金	1,049	2,247
その他	30,859	31,785
流動負債合計	143,648	150,868
固定負債		
社債	60,000	60,000
長期借入金	2,580	2,500
リース債務	37,783	38,514
繰延税金負債	2,378	1,495
退職給付に係る負債	4,416	3,970
その他	6,507	4,509
固定負債合計	113,667	110,989
負債合計	257,315	261,858
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,972	23,972
資本剰余金	15,836	15,836
利益剰余金	147,561	166,969
自己株式	△9,717	△24,720
株主資本合計	177,653	182,057
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	3,480	4,976
繰延ヘッジ損益	2,241	6,935
為替換算調整勘定	22,304	29,602
退職給付に係る調整累計額	△871	△844
その他の包括利益累計額合計	27,155	40,670
新株予約権	271	269
非支配株主持分	1,720	1,597
純資産合計	206,801	224,595
負債純資産合計	464,116	486,453

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
売上高	152,297	174,102
売上原価	75,873	79,254
売上総利益	76,424	94,847
販売費及び一般管理費	※ 54,303	※ 61,034
営業利益	22,120	33,812
営業外収益		
受取利息	490	1,054
受取配当金	6	5
為替差益	—	349
補助金収入	811	4
その他	202	222
営業外収益合計	1,511	1,636
営業外費用		
支払利息	1,009	1,291
為替差損	77	—
海外事業関連損失	248	656
その他	375	424
営業外費用合計	1,711	2,372
経常利益	21,921	33,076
特別利益		
固定資産売却益	1	1
投資有価証券売却益	—	0
特別利益合計	1	1
特別損失		
固定資産売却損	—	3
固定資産除却損	11	0
投資有価証券評価損	—	10
減損損失	62	—
賃貸借契約解約損	242	—
特別損失合計	317	15
税金等調整前四半期純利益	21,605	33,062
法人税等	5,189	6,239
四半期純利益	16,416	26,823
非支配株主に帰属する四半期純利益	105	85
親会社株主に帰属する四半期純利益	16,310	26,737

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
四半期純利益	16,416	26,823
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	256	1,495
繰延ヘッジ損益	△1,802	4,693
為替換算調整勘定	2,152	7,298
退職給付に係る調整額	25	27
その他の包括利益合計	632	13,515
四半期包括利益	17,048	40,338
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	16,941	40,252
非支配株主に係る四半期包括利益	106	85

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項がないため記載しておりません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、会社法第459条第1項1号及び当社定款第39条の規定に基づく自己株式の取得を、以下のとおり実施しました。

なお、2024年3月22日までの買付をもって、2024年2月9日開催の取締役会に基づく自己株式の取得は終了いたしました。

(1) 取得株式の種類	普通株式
(2) 取得株式数	2,409,600株
(3) 取得総額	14,999百万円
(4) 取得期間	2024年2月13日～2024年3月22日(約定ベース)
(5) 取得方法	東京証券取引所における市場買付

この自己株式の取得及び単元未満株式の取得により、当第1四半期連結累計期間において自己株式が15,005百万円増加しましたが、ストックオプションの権利行使により自己株式が2百万円減少したため、当第1四半期連結会計期間末において自己株式が24,720百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用につきましては、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(四半期連結貸借対照表関係)

当社においては、運転資金の効率的な調達を行うため取引銀行と当座貸越契約を締結しております。この契約に基づく当第1四半期連結会計期間末の借入未実行残高は次のとおりであります。

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2024年3月31日)
当座貸越極度額	205,500百万円	205,500百万円
借入実行残高	－百万円	23,000百万円
差引額	205,500百万円	182,500百万円

(四半期連結損益計算書関係)

※ 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
荷造運搬費	6,284百万円	6,692百万円
広告宣伝費	8,758百万円	10,559百万円
支払手数料	8,265百万円	9,812百万円
貸倒引当金繰入額	64百万円	181百万円
従業員賃金給料	12,351百万円	13,034百万円
賞与引当金繰入額	1,361百万円	1,805百万円
退職給付費用	276百万円	255百万円
賃借料	3,016百万円	3,310百万円
減価償却費	4,132百万円	4,816百万円

## (セグメント情報)

## 1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、経営会議が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社は、世界本社として主に経営管理及び商品開発を行っております。

当社グループは、主にスポーツ用品などを製造販売しており、国内においてはアシックスジャパン株式会社及びその他の国内法人が、海外においては北米、欧州・中近東・アフリカ、中華圏、オセアニア、東南・南アジアの各地域を、アシックスアメリカコーポレーション、アシックスヨーロッパB.V.、亞瑟士(中国)商貿有限公司、アシックスオセアニアPTY. LTD. 及びアシックスアジアPTE. LTD. などがそれぞれ担当しております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	27,547	26,154	44,430	19,083	11,542	6,958	13,038	148,755	3,542	152,297
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,809	—	15	84	—	—	0	8,909	△8,909	—
計	36,356	26,154	44,445	19,168	11,542	6,958	13,038	157,665	△5,367	152,297
セグメント利益又は損失	4,721	△346	6,551	4,508	2,081	1,738	1,861	21,116	1,003	22,120

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

	日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域	合計	調整額(注)1	四半期連結損益計算書計上額(注)2
売上高										
(1) 外部顧客への売上高	31,390	33,077	48,364	23,868	11,698	9,171	12,711	170,280	3,821	174,102
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	8,689	—	13	2	—	0	—	8,705	△8,705	—
計	40,079	33,077	48,377	23,870	11,698	9,171	12,711	178,986	△4,884	174,102
セグメント利益又は損失	6,598	3,475	9,684	5,784	2,516	2,237	2,518	32,815	996	33,812

(注) 1. (1) セグメント売上高の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の売上高を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

(2) セグメント利益又は損失の調整額は、報告セグメントに含まれない会社の利益又は損失を含んでおりますが、主にセグメント間調整によるものであります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## (重要な後発事象)

(株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更)

当社は2024年5月10日開催の取締役会において、株式分割及び株式分割に伴う定款の一部変更を行うことを決議いたしました。

## 1. 株式分割

## (1) 株式分割の目的

当社株式の投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、株式の流動性の向上と投資家層の拡大を図ることを目的としております。

## (2) 株式分割の方法

2024年6月30日を基準日として、同日の最終の株主名簿に記録された株主の所有する当社普通株式1株につき4株の割合をもって分割いたします。

## (3) 株式分割により増加する株式数

株式分割前の発行済株式総数	189,870,559株
今回の株式分割により増加する株式数	569,611,677株
株式分割後の発行済株式総数	759,482,236株
株式分割後の発行可能株式総数	3,000,000,000株

## (4) 株式分割の日程

基準日公告日	2024年6月14日(金)(予定)
基準日	2024年6月30日(日)
効力発生日	2024年7月1日(月)

## (5) 1株当たり情報に及ぼす影響

前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定した場合における1株当たり情報の各数値はそれぞれ以下のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)	当第1四半期累計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)
1株当たり四半期純利益	22.26	36.65
潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益	22.24	36.62

## (6) その他

## ① 資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。

今回の株式分割は、2024年7月1日を効力発生日としているため、2024年6月30日を基準日とする2024年12月期の中間配当金につきましては、株式分割前の株式数を基準に実施いたします。

## ② 新株予約権(ストックオプション)の目的たる株式の数の調整

今回の株式分割に伴い、アシックス第2回新株予約権(2014年)からアシックス第6回新株予約権(2018年)につき、その新株予約権1個当たりの目的である株式の数(以下「付与株式数」という。)を、2024年7月1日付で、以下のとおり調整いたします。なお、第1回新株予約権は全数が行使済です。

調整前付与株式数(株)	調整後付与株式数(株)
100	400

## ③ 業績連動型譲渡制限付株式の総数上限の調整

今回の株式分割に伴い、2024年3月22日開催の第70回定時株主総会で決議された当社取締役（監査等委員である取締役及び社外取締役を除く。）（以下「対象取締役」といいます。）に対する譲渡制限付株式報酬制度について、各事業年度において当社の対象取締役に対して割り当てる業績連動型譲渡制限付株式の総数の上限を、2024年7月1日付で、以下のとおり調整いたします。

調整前の総数の上限（株）	調整後の総数の上限（株）
900,000	3,600,000

## 2. 株式分割に伴う定款の一部変更

## (1) 定款変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、取締役会決議により、2024年7月1日をもって当社定款第5条に定める発行可能株式総数を変更いたします。

## (2) 定款変更の内容

変更の内容は、以下の通りです。

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>7億9,000万株</u> とする。	(発行可能株式総数) 第5条 当社の発行可能株式総数は、 <u>30億株</u> とする。

## (3) 定款変更の日程

効力発生日

2024年7月1日（月）

## 3. 補足情報

## (1) 地域別売上高

前第1四半期連結累計期間(自 2023年1月1日 至 2023年3月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他	計
30,132	26,981	44,657	19,123	31,403	152,297

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

当第1四半期連結累計期間(自 2024年1月1日 至 2024年3月31日)

(単位:百万円)

日本	北米	欧州	中華圏	その他	計
33,905	34,098	45,744	23,885	36,467	174,102

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 在外子会社為替換算レート

	USD	EUR	RMB	AUD	SGD
2023年12月期第1四半期 (円)	132.77	142.89	19.34	90.62	99.64
2024年12月期第1四半期 (円)	147.69	160.68	20.62	97.51	110.31
増減 (円)	14.92	17.79	1.28	6.89	10.67
増減比 (%)	11.2	12.5	6.6	7.6	10.7

(注) 上記にて在外子会社の損益計算書を換算しております。

## (3) 報告セグメント別売上高増減比、セグメント利益増減比及びセグメント利益率

		日本地域	北米地域	欧州地域	中華圏地域	オセアニア地域	東南・南アジア地域	その他地域
売上高増減比 (%)	(外貨)	—	13.2	△3.2	16.1	△5.8	22.0	△13.3
	(邦貨)	10.2	26.5	8.8	24.5	1.4	31.8	△2.5
セグメント利益増減比 (%)	(外貨)	—	—	31.3	19.6	12.3	18.3	21.5
	(邦貨)	39.8	—	47.8	28.3	20.9	28.7	35.3
セグメント利益率 (%)		16.5	10.5	20.0	24.2	21.5	24.4	19.8